

令和7年度 事業計画

一般財団法人 津山慈風会

目 次

令和7年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）	1
中期経営計画および令和7年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会	8
中期経営計画および令和7年度事業計画 津山中央病院	12
令和7年度事業計画 津山中央記念病院	26
令和7年度事業計画 津山中央看護専門学校	30
令和7年度事業計画 津山訪問看護ステーション	34
令和7年度事業計画 津山中央居宅支援事業所	38
令和7年度事業計画 アーバンライフ二階町	42
令和7年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA	46
令和7年度事業計画 法人本部	52

令和7年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画【概要】

今年度は昭和28年に法人が誕生し72年、昭和29年に津山中央病院を開設して71年、平成9年に国立療養所津山病院の経営移譲を受けて28年を迎えることとなります。さて、今年はいよいよ団塊の世代が後期高齢者になる2025年となりました。岡山県北地域ではますます高齢化が進み、患者構成・疾病構成が変化しておりますが、特にコロナ以降、拍車がかかってきております。食材やエネルギー、医療用資材等、諸物価高騰の収まる見通しは立っていませんし、生産労働人口の減少、さらに昨年からはじまった医師の働き方改革に伴うマンパワー不足は、全国の医療機関で深刻な問題となりつつあり、この地域も例外ではありません。患者減、費用高騰、人手不足という三つの壁に立ち向かうフェーズが訪れております。

まずマンパワーの確保が大きな課題となります。医師については昨年からは勤務時間の規制が始まり、当財団ではA水準を達成することを目標にしております。看護師については、地域の労働人口の減少に伴いますますます確保が難しくなっております。また学生の大学志向が強くなることで看護専門学校の入学生は大きく減少しており、重大な懸念材料となっております。「職員から選ばれる病院」を目標に「働き方改革」や「魅力ある職場づくり」に努めます。具体策として、職場環境や風土の改善、生成AIの活用などを重点項目に掲げております（2ページ）。

病床運営については、一昨年、緩和ケア病棟14床を開設することが出来ましたが、依然として限られた数での病床運営となりますので、これまで以上に地域連携の推進と在院日数の短縮が重要な課題となります。地域の医療ニーズに応えるため、病棟機能の向上と在院日数の適正化に津山中央病院グループ全職種をあげて対応します。また新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に限定的になりましたが、流行時には使用できる病床数がどうしても制限されますので、引き続き対策に注力することとなります。関連してBCPの整備も重要なテーマとなります。昨年1月の能登震災を教訓に幅広い分野での整備に努めて参ります。

基本方針に掲げる重点項目の取り組みにも引き続き注力します。「お断りしない救急」については今年度の重点目標の1つ（2ページ）に掲げました。医師、看護師などのマンパワー確保や受入病床の確保が課題となります。

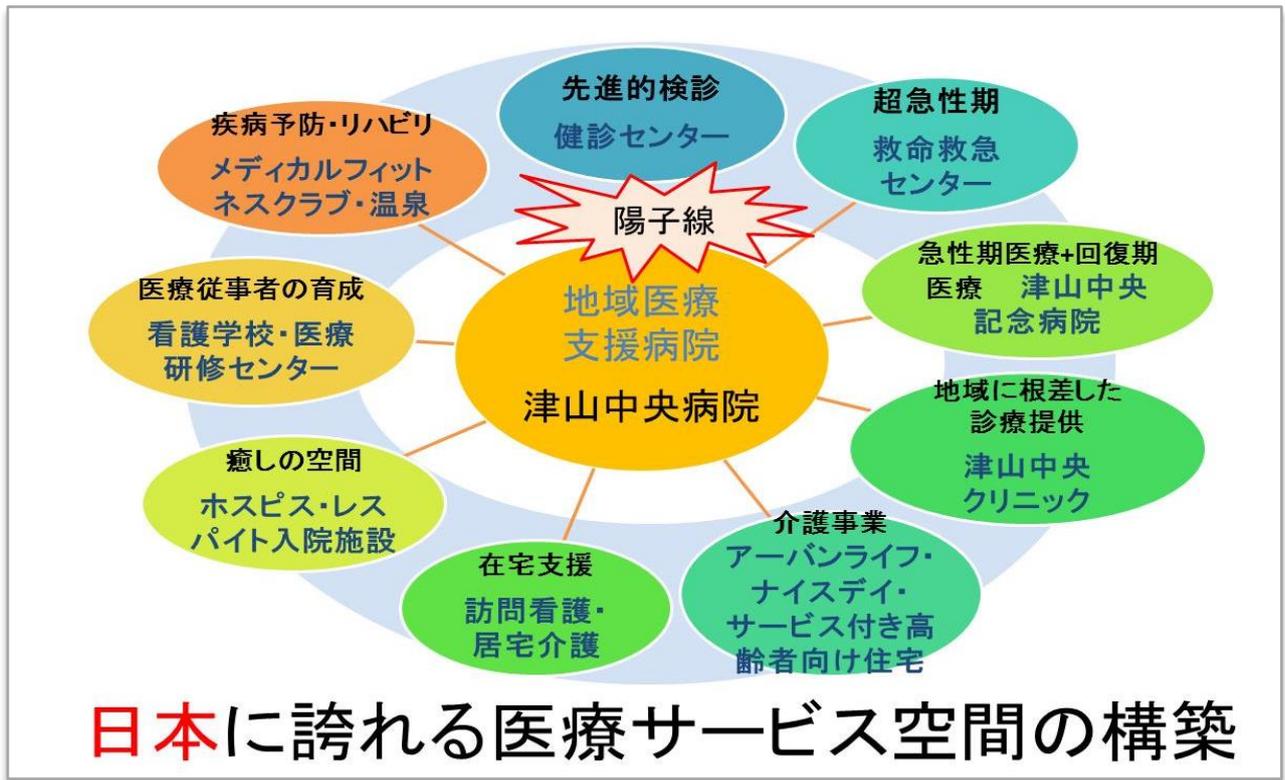
「最先端医療の提供」のため、POWER UP 5で完成した施設についての運用面での充実が課題となります。特に陽子線治療、集中治療室、手術支援ロボット「ダヴィンチ」などを擁する高規格手術室について症例数の拡大に努めます。導入から6年経った手術支援ロボットの運用は安定しており、これまでに前立腺、腎臓、肺、消化器、婦人科に領域を広げております。今後もそれぞれの領域の症例数拡大を図ります。

この他に地域ぐるみで医療を支えるための連携登録医とのアライアンス強化、回復期・介護・在宅分野の充実（主に二階町のグループ事業所）、健診事業および健康増進事業の拡充、医療インバウンドの拡充、臨床研修医や看護師（看護学校）など医療従事者の育成、といった事業を展開してまいります。そしてそのために必要な経営基盤の強化も同時に行ってまいります。

津山中央病院本館の竣工から20年が経過し、老朽化した設備の更新工事を行っております。一昨年に周産期センターが竣工し、引き続き各病棟の改修工事を順次行い、これまでの工事進捗率は50%程度で、令和7年度末の竣工の見込みとなっております。また許可病床数は現在の医療ニーズに合わせて、工事の進捗に伴い456床までダウンサイジングします。記念病院の増築工事は令和6年度の1月に竣工し、本館の改修工事も含めて、一連の工事が今年度に完了します。老朽化したクリニックの機能継承と記念病院の機能拡充が目的です。

今年度は中期3ヵ年計画の3年目として、事業を展開していくこととなります。より具体的な令和7年度の事業計画は以下の通りです。

中 長 期 ビ ジ ョ ン



今 年 度 重 点 目 標

テーマ	計画年度					
	R4	R5	R6	R7	R8	R9
I 新入院獲得（紹介患者を中心に）						
II 新入院獲得（救急患者を中心に）						
III レセプト対策（査定・請求漏れを防ぐ）						
IV B C Pの整備						
V 魅力ある職場づくり						
VI 新体制下のグループ病院との連携強化						
VII <u>生成A Iを知る</u> ※新規						次のステップを 予定
※子 看護部へのサポート体制の構築						
※子 DXと業務改善（デジタルトランスフォーメーション）						

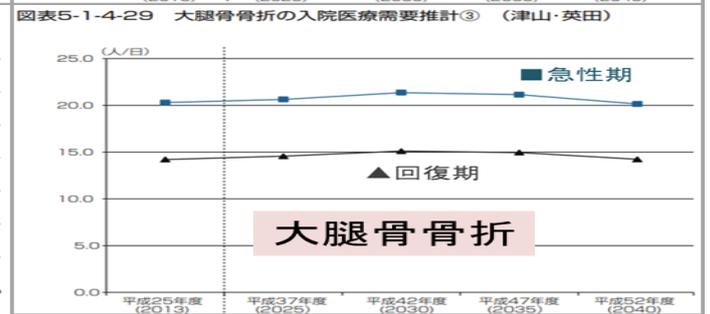
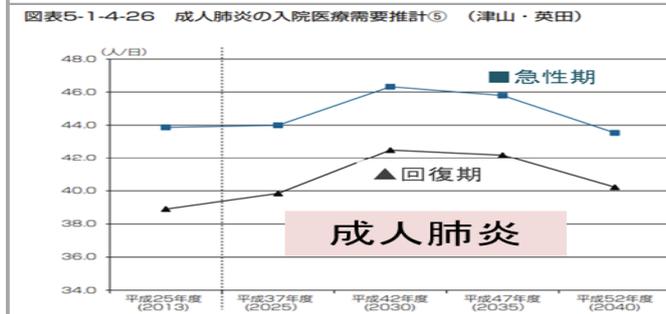
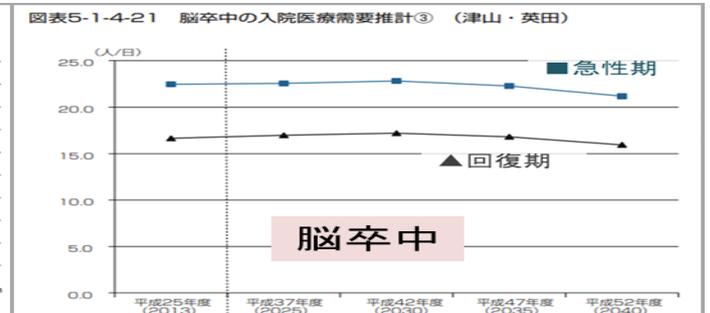
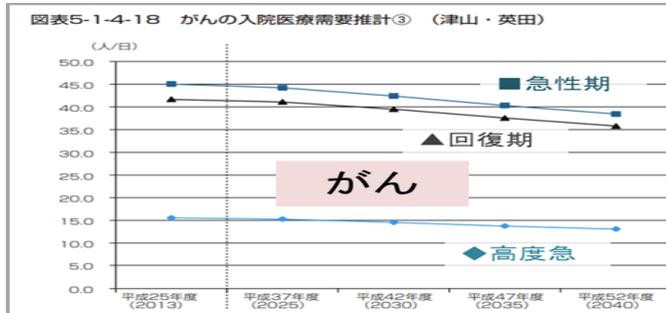
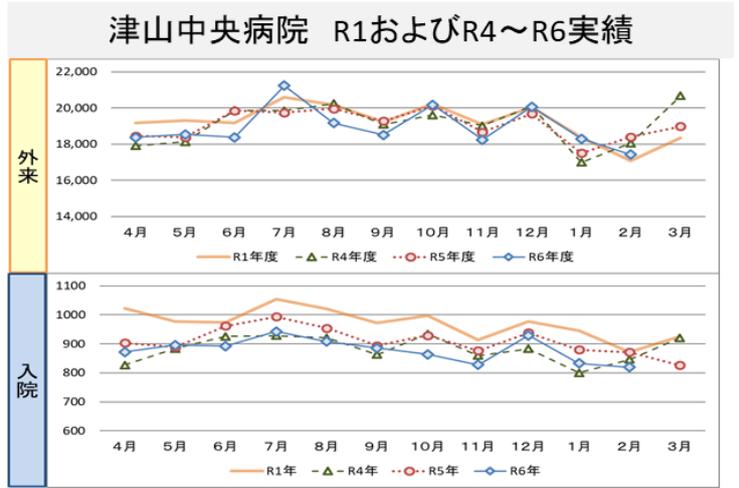
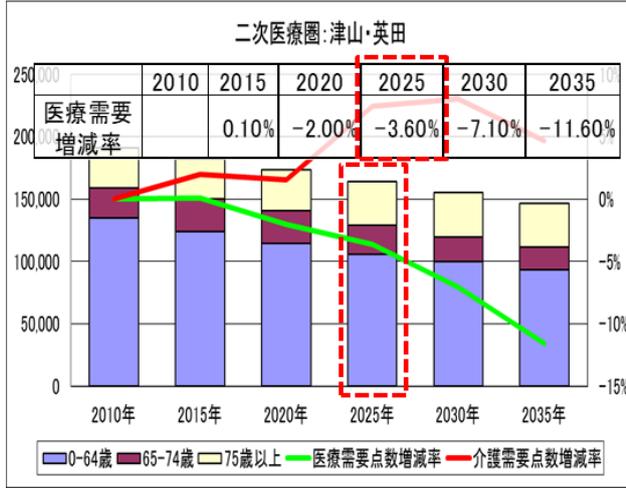
令和7度 各事業所の事業計画（概要）

1 津山中央病院	○「お断りしない救急」「高度医療の提供」のための機能充実	・救命救急センターの整備 ※スタッフ確保、ER Day 拡充、Dr. カー拡充、受入病床の確保など ・ゲノム連携病院の機能充実、がん拠点病院の要件クリアの継続など
	○がん陽子線治療センターの機能拡充	・保険適用領域（前立腺がん等）および先進医療の領域について症例数増加 ※1 保険収載：小児がん、前立腺がん、頭頸部悪性腫瘍、骨軟部腫瘍、肝細胞癌、肝内胆管癌、局所進行肺癌、大腸癌術後局所再発 ※2 2024年 新規保険収載：早期肺癌
	○手術室の効率的な運用	・令和元年に竣工した4つのOP室および2つの血管造影室の効率的な運用 ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大 ・ハイブリッドOR（経カテーテル的大動脈弁植え込み術）の運用安定と症例数拡大
	○病棟の安定稼働	・集中治療室の増床の検討 ・ 病床再編工事の竣工 、許可病床数のダウンサイジング ・緩和ケア病棟14床の安定稼働 ・一部病床の運用制限をした状態での安定した患者受入（看護師不足） ・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（全体で70%を目指す）と転院促進 ・院内感染症対策（入院患者受入れ体制、院内感染防止体制、PCRなど検査体制、マスクなどの防護具確保など診療体制の維持）
	○地域連携の推進	・連携登録医、介護・在宅、津山中央病院グループ施設との連携
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	・「職員から選ばれる病院」づくり ・医師の長時間労働対策など働き方改革の推進（A水準の実現） ・看護業務のタスクシフト、タスクシェアの推進 ・業務の効率化の推進（DX※ICT・AI、業務改善）
	○診療報酬対策	・改定への対応：賃上げについての評価、入院基本料の見直し（看護必要度など）、DX・情報セキュリティの評価など ・ 査定・請求漏れ対策
	○BCPの見直し	・ 災害対策からサイバーセキュリティまで
2 津山中央記念病院	○一般病棟の安定稼働	・施設基準10：1の維持 ・在宅などからの新規入院患者の獲得
	○地域包括ケア病床の拡充	・在宅からの入院強化 ・介護保険施設入所者の受け入れの推進
	○療養病棟の安定稼働	・看護師、アシスタントⅡの確保 ・安定稼働を目指しさらなる充実を図る
	○透析センターの充実	・看護師・MEを確保し慢性医療の充実を図る
	○新型コロナウイルス対策	・透析患者受入れ体制の維持、院内感染防止体制
	○津山中央病院、津山中央まにわ病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○介護・在宅との連携強化	・ 新規連携先の獲得
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	・医師の当直体制の見直し ・常勤医師の増員 ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進
	○クリニックとの機能統合	・増築工事 竣工 、 クリニックの機能移転

訪問看護 ステーション	3 津山中央	○機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの充実とスキルアップ ・医療対応のスキルの高さを生かし、医療的ケア児、ターミナルケア、難病、人工呼吸器装着、在宅酸素、<u>ストーマ管理</u>の対応件数を増加、看護体制強化加算を維持、機能強化型訪問看護ステーション加算算定を取得を目指す
		○働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化	
		○地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
居宅介護 支援事業所	4 津山中央	○利用者数の維持	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高いケアマネジメントの実践
		○働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
看護専門学校	5 津山中央	○地域医療の充実に貢献する優秀な看護師の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成
		○優秀な志願者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・地元高校生とその保護者へ本校の強み発信 ・中学生へ看護の魅力発信 ・社会人や高校教員への情報発信の強化 ・<u>在校生のいる出身校への積極的な発信、学校訪問（教員・在校生）</u> ・<u>学生を引き付けるホームページの刷新</u>
		○豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成	
		○国家試験全員合格	
		○業務の見直しと効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化の軽減に取り組み、学生と向き合う時間を確保する ・例年通りではなく、新しいことへ挑戦する気持ちを持ち続ける
有料老人ホーム アーバンライフ二階町	6		○ <u>契約者の維持（アバンライフ29名）及び平均介護度2.8の達成</u>
			○利用者満足のために、 <u>利用者ファーストのサービス提供を目指す</u>
		○働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化のためオペレーションの見直しを図る ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
カルヴァータ フィットネス&スパ	7	○会員数増とサービスの充実に努め、健康増進に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数増、クラブ収益の向上 ・<u>パーソナル型プログラムサービスの推進</u>
		○ <u>生産性向上と業務効率化の推進</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>システム活用による業務の効率化の推進</u> ・<u>スタッフ1名あたりの生産性測定と評価</u>
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携型運動療法プログラムの立案、運用準備 ・<u>医師との連携、連携システムの実現</u>
		○ <u>地域の健康増進への寄与</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政との連携による地域住民の健康増進案の立案と実践

参考

【患者数、医療ニーズの分析】



【津山中央病院 再整備事業 POWER UP 5 (令和元年竣工)】



病床再編 2 期工事

515床→456床

岡山県 病床機能分化・連携促進のための基盤整備事業

5 西病棟

6 西病棟

5 東病棟

6 東病棟

4 東病棟



2 F 更新工事

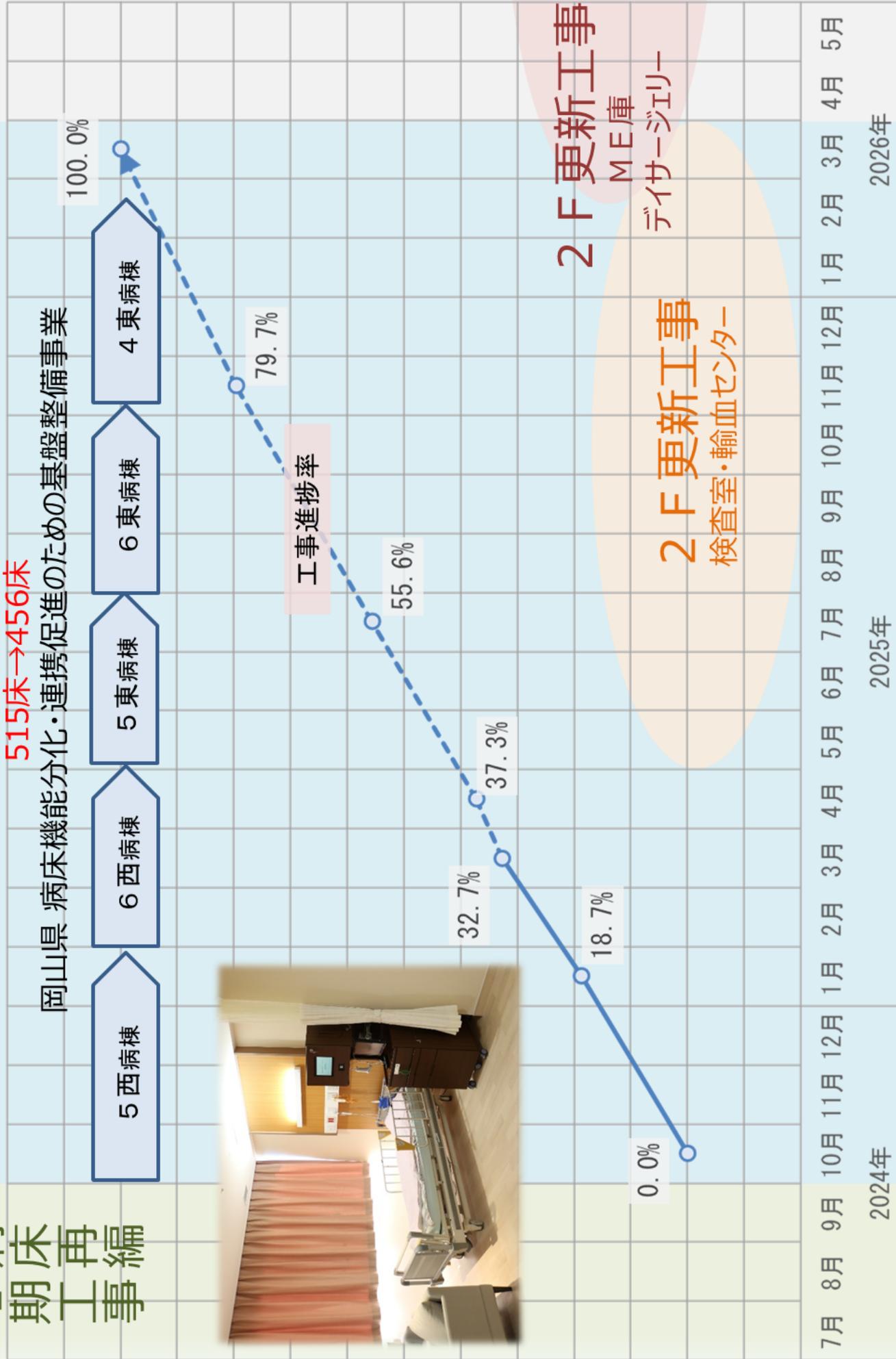
ME庫

デイサージエリー

2 F 更新工事

検査室・輸血センター

工事進捗率



【津山中央病院グループ概要】

高度急性期



津山中央病院
救急救急センター

人材育成



医療研修センター
看護専門学校

津山中央病院グループ



健康管理センター



健康管理センター
フィットネス&スパ カルヴァータ

健診・健康増進

津山中央記念病院



津山中央記念病院
R7.4統合

急性期・地域包括ケア

訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所

回復期

有料老人ホーム
アーバンライフ二階町



有料老人ホーム
アーバンライフ二階町

介護・在宅

【数字で見る津山中央病院グループ】

数字で見る津山中央病院グループ 2024年度

<p style="text-align: center;">一般財団法人 津山慈風会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立 昭和28年10月 ・事業所数 9事業所 ・職員数 1,253人(R6.4.1時点) <li style="padding-left: 20px;">内 医師 135人 <li style="padding-left: 20px;">内 看護師 589人 <li style="padding-left: 20px;">内 薬剤師 30人 	<p style="text-align: center;">津山中央病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 498床 ・標榜診療科 30診療科 ・入院患者数 134,903人 ・外来患者数 227,414人 ・救急車数 5,225台 ・手術件数 4,729人 	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡件数 11,204件 ・地域医療支援病院 救命救急センター 地域がん診療拠点病院 医師臨床研修指定病院 D P C 特定病院群
<p style="text-align: center;">津山中央健康管理センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 10,841人 	<p style="text-align: center;">フィットネス&スパ カルヴァータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 636人※R6年度末 	
<p style="text-align: center;">津山中央記念病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 81床 ・標榜診療科 2診療科 ・入院患者数 21,584人/年 ・外来患者数 43,426人/年 ・透析患者数 21,254人/年 	<p style="text-align: center;">アーバンライフ二階町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居室数 29室※全室個室 <p style="text-align: center;">ナイスデイ二階町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通い 1,687人 ・訪問 39人 ・宿泊 693人 	<p style="text-align: center;">津山中央看護専門学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業者数 24人 ・国家試験合格率 96.0%
<p style="text-align: center;">津山中央クリニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標榜診療科 3診療科 ・外来患者数 8,776人/年 	<p style="text-align: center;">津山中央訪問看護ステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間訪問数 3,726件 ・看護体制強化加算 ・機能強化型訪問看護ステーション加算 	<p style="text-align: center;">医療法人真庭慈風会 津山中央まにわ病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 55床 ・標榜診療科 14診療科 ・救急告示指定 ・併設 老健、訪問看護、居宅支援

中期経営計画および令和7年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会

目 次

中期経営計画の策定について

理念

基本方針

基本方針に基づく中期経営計画骨子

令和7年度事業計画の策定について

津山慈風会は丸72年を迎え、津山中央病院が誕生し丸71年を迎えます。

平成27年度のがん陽子線治療センターを皮切りに、平成29年度に出来た新病棟（N館）、そして令和元年度に拡張工事が完了した手術センターなどを活用し、地域の皆さんに高度医療を提供できるよう努めます。新型コロナウイルスの影響は令和5年に5類感染症に変更されてからも少なからず続いておりますが、当財団は新しい令和の時代にふさわしい医療サービス空間をつくるため、ますます精進して参ります。

理事長

津山慈風会の経営理念

作成：平成13年 8月14日

改定：令和 6年 4月 1日（第3版）

直近見直：令和 6年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の医療、保健、福祉を实践する
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
3. 職員倫理や技術、安全に対する教育・研修を継続的に行う
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護・福祉事業を展開する
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化及び業務の効率化を図る
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する

基本方針に基づく中期経営計画骨子（令和5～7年）

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の保健、医療、福祉を実践する
 - ①顧客の立場にたった医療、看護、介護を提供する 5～7年
 - ②顧客の権利とプライバシーを遵守する 5～7年
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
 - ①ハイブリッド手術室 適用の拡大 5～7年
 - ②手術支援ロボット 前立腺がん手術の施設基準維持、その他の領域の適用拡大 5～7年
3. 教育・研修を継続的に行う
 - ①職員倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ②技術習得のための教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ③医療安全、感染対策、医療倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
 - ①地域のネットワークを構築する 5～7年
 - ②医療連携による地域完結のしくみを推進する 5～7年
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護事業を展開する
 - ①在宅介護事業を推進する 5～7年
 - ②介護事業の領域を拡大する 5～7年
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
 - ①健診事業の充実を図る 5～7年
 - ②健康増進施設を充実させる 5～7年
7. 地域医療に貢献する人材を育成する ～職員に選ばれる病院作り～
 - ①看護教育・卒後研修を充実し、人材の地域定着を図る 5～7年
 - ②医師臨床研修を充実する 5～7年
 - ③地域医療従事者への教育環境を充実する 5～7年
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化を図る
 - ①地域基幹病院の機能を充実する 5～7年
 - ②各施設に求められる機能を充実する 5～7年
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
 - ①法令遵守の監視体制を推進する 5～7年
 - ②働き方改革を推進する 5～7年
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する
 - ①急性期医療におけるコスト管理を強化する 5～7年
 - ②経営統計資料を整備し、分析・活用を図る 5～7年
 - ③医療インバウンドを推進する 5～7年
 - ④人材確保のための福利厚生、働きやすい環境を整備する 5～7年

中期経営計画および令和7年度事業計画

津山中央病院

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範、患者の権利と責任
2. 基本方針の具体的内容
3. 基本方針に基づく中期経営計画（令和5～7年度）
4. 令和7年度事業計画

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日
改定：令和 6年 4月 1日（第4版）
直近見直：令和 6年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
～職員に選ばれる病院作り～
- 持続可能で健全な経営に努める（SDGs）

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

患者の権利と責任

当院では患者を尊重し、患者と当院の信頼関係を深めよりよい治療を行うために次に掲げる患者の権利と責任を宣言します。

患者の権利

- ① 人格を尊重した良質で最適な医療・看護を継続して平等に受ける権利
- ② 担当医師から診断・治療・予後について納得できるまで十分な説明を受ける権利
- ③ 担当医師から治療に入る前に、治療方針等について十分理解したうえで同意、或いは選択するのに必要な情報を得る権利
- ④ 必要な情報を得た上で、治療方針を自ら決める権利
- ⑤ 治療に関するすべてのコミュニケーション、記録等の個人情報およびプライバシー情報が極秘扱われる権利
- ⑥ 医療費の請求内容を確認したり、内容についての説明を受ける権利
- ⑦ セカンドオピニオンが保障される権利
- ⑧ 定められた手順に従って、自己の診療記録の開示を受ける権利

患者の責任

1. 昔かかった病気、入院や内服薬を含めて自身の健康状態について情報を提供する責任
2. 治療を継続して受けることが出来ないと考えたときには担当医に告げる責任
3. 保険に関する情報を提供する責任
4. 医療費を速やかに支払う責任
5. 病院が決めた規則・ルールを守る義務

基本方針の具体的内容

1. お断りしない救急診療に努める

- ・ 救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制の構築に努める。
- ・ 救命救急センターの役割を全うする。
- ・ 救急医療は地域住民への安心の提供と、信頼される地域医療連携の基盤をなすものとする。

2. 最先端の医療を提供する

- ・ 常に医療の質向上に努力する。
- ・ 各分野ごとに最先端の医療を提供できるよう、人材の確保と育成に努める。
- ・ 医療実績は、国内はもとより海外にも積極的に情報を発信し、評価していただく。
- ・ 医療の質向上のために必要とする適正な投資を継続的に行い、職員の意欲向上にも寄与する。

3. 地域医療機関との連携を強化する

- ・ 地域連携の必要性・重要性を職員一同共有する。
- ・ 「自己完結型」医療から、「地域完結型」医療の中心的存在として貢献する。
- ・ 地域医療支援病院を中心とする津山慈風会グループとしての自覚を持ち、地域の医療、福祉関係者と密に連携をとる。
- ・ 岡山県北地域の医療の質向上と患者さんのQOL向上のため円滑な医療連携を図る。

4. 地域に対する啓発活動を推進する

- ・ 地域へ保健、医療、福祉についての啓発活動を行う
- ・ 津山慈風会の事業への理解を深めていただき、信頼と親近感を持てる病院をめざした、種々の活動に取り組む

5. 教育、人材育成に傾注する ～職員に選ばれる病院作り～

- ・ 「人は城、人は石垣、人は堀」を踏まえ、病院、地域を支えるのは慈風会職員そのものであるとの認識を共有する。
- ・ 職員のキャリアアップのための研鑽や教育を積極的に行う。
- ・ 女性医師支援、子育て職員支援に積極的に取り組む。
- ・ 地域に貢献する看護師育成のため、津山中央看護専門学校の充実を図る。

6. 持続可能で健全な経営に努める (SDGs)

- ・ 営利を目的とするものではない。
- ・ 患者、地域あるいは職員育成のために 必要な投資を行うと同時に、健全な経営に努める。

基本方針を達成するために

- ・ 職員全員が参加する、発言する風土を作る。
当然、発言には責任を持つ。(参加する委員会、ワーキンググループなどでは必ず発言する)
- ・ 管理職は、よい慣習はよりよくし、悪い慣習は打破する勇気を持ち、臭いものにふたをしない努力を続ける。そして、その情報は管理職間で共有する。(「三人よれば文殊の知恵」)
- ・ 何か気づいたこと、こうすればよくなるぞという提案を歓迎する。
この提案は、もちろん具体的解決策を持たなければいけない。
(「津山慈風会伝書鳩」と名付ける。「林」宛て、優秀な提案は忘年会で表彰)

2. 基本方針に基づく中期経営計画 (5~7年度)

	事業	行動計画	
I お断りしない救急	救命救急センター	・重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の充実 ※JIPD入力体制 (R7.3達成)	5~7年度
		・ER構想の進捗 ・ER Dayの拡充 ・救急外来でのタスクシェア (救急救命士、事務、コメディカル) ・ドクターカー運用の拡充	5~7年度
		・集中治療ユニットの増床の検討 (HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床)	5~7年度
		・スタッフ確保 (救急医確保、看護師、認定看護師、救命士など)	5~7年度
		・応需率の改善 (80%台から90%台に)	6~7年度
	小児救急拠点病院	・小児救急外来の体制維持	5~7年度
	周産期母子医療センター	・NICU機能の充実 (体制整備と改築工事竣工 R5.5~R5.7運用開始) ・助産師外来の体制充実	5~7年度 5~7年度
	※災害拠点	※IV地域貢献に記載	
	※外来機能・病棟機能の充実	※II最先端医療に記載	
	II 最先端医療	がん拠点病院	・がん拠点病院としての体制を整える (手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア)
・ゲノム連携病院 ・指定 (R5.9指定)			5年度達成
・機能充実 標榜※R6.1済、相談窓口※R6.1済、カサセ配置 ※R5.11、ISO15189認証取得 (R7.8予定※5月 受審)、カウンセラー加算			5~7年度
・がん登録の精度向上			5~7年度
放射線治療センター		・陽子線治療 ・保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 ・医学物理士の採用 (R5.4採用、4~8月研修、9月業務開始) ・医療インバウンドの症例数増加 ・JIHの指定の維持 (R5.9指定更新)	5~7年度 5年度達成 5~7年度 5年度達成
		・定位照射 ・IMRT (X線) 治療の適用症例の拡大	5~7年度
		・令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用	5~7年度
		・ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大 (TAVI 専門施設取得※R6.1)	5~7年度
手術センター		・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大	5~7年度
		・外来手術推進 (白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等)	5~7年度
血管治療 (心臓血管 CN・脳卒中 CN)		・令和元年度に竣工した血管造影室 (2部屋) についての効率的な運用	5~7年度
		・新規に導入した手技の安定した運用 (インペラ、FFRet、NOガス)	5~7年度
		・新規手技の導入 (Mics 手術 R5.9開始、TAVI 専門施設取得 R6.1、Watchman 手術 R6.6開始)	5~7年度
リハビリテーション CN		・実施件数の増加 ・365日リハ検討	5~7年度 5~7年度
地域完結		・DPC特定病院群の維持 (R5.2達成、R7.2対応中) ・県南に流出している疾患の実績増加	5~7年度 5~7年度
外来機能の充実		・専門外来の充実 ・常勤医師の確保 (眼科、乳腺外科、皮膚科専門医など) ・緩和ケア外来の開設※R5.6達成	5~7年度 5年度達成
		※連携登録医、グループ施設の連携促進→※III地域連携に記載	5~7年度
		・DPC入院期間II以内の退院割合の向上 (70%を目指す) ・記念病院との連携 (へパリン化入院、整形外科など) ・RRSの安定した運用 ・感染制御の体制維持 (医療スタッフの手技、PE確保、5類移行対応※R5.5達成) ・緩和ケア病棟14床の開設※R5.5達成 → 安定稼働 ・許可病床のダウンサイジングの検討 ・計画決定 (R7年度に515床→456床) ・R5.11改修工事開始 → R8.3竣工	5~7年度 5~7年度 5~7年度 5~7年度 5~7年度 5~7年度
チーム医療		※看護師の増員・育成 → ※V人材育成に記載	
		・各チームの活動件数増加 ・各チームの体制充実	5~7年度 5~7年度
	※NST、認知症ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血cn、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター、心臓リハチーム→心リハ・心不全ケアチーム (R6.1)、精神科増員		
	・特定行為看護師 ・認知症※R4年1名取得 → 手順書作製・運用開始 ・周術期の資格取得	7年度 7年度	
	・タスクシェア ・看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する (採血 対応できる検査技師の拡充など)	5~6年度	

	事業	行動計画	
Ⅲ 地域 連携	地域医療支援病院	・連携登録医、グループ施設の連携促進(R6.10表示灯社モーター導入) ・地域連携クリパス稼働件数増加(脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折) ・地連パス会議、CCセミナーの開催(Webの活用)	5~7年度 5~7年度 5~7年度
	※地域完結	※I最先端医療に記載	5~7年度
	災害拠点	・体制整備と訓練実施 ・DMAT派遣体制の確保(R6.1能登震災支援として物資提供を実施)	5~7年度 5~7年度
Ⅳ 地域 貢献	へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣	5~7年度
	感染症	・第二種感染症指定病院(新型インフル・結核)としての患者受入れ ・新型コロナ対策 ・東北の重点医療機関としての役割(重症患者受入、5類対応) ・ワクチン接種の実施、流通の基本型病院、副反応対応	5~7年度 5年度達成 5年度達成
	健診事業	・地域の拠点としての体制確保(感染対策向上加算1 R6.4継続) ・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加 ・体制の再整備(診察医確保、土曜日中止し月~金に集約)	5~7年度 5~7年度 5~7年度 6年度達成
	医療インバウンド	・陽子線治療実績の増加 ・陽子線以外の治療実績の増加(乾癬、糖尿病など) ・スーパードッグの件数増加	5~7年度 5~7年度 5~7年度
	第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等	5~7年度
	職員確保	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など	5~7年度
	「職員に選ばれる病院」	・研修医 マッチング10割※R5 ・看護師増員 ・離職率5% (R5 10.2%、R6 *%、R7 *%) ※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持 ・看護師負担軽減プロジェクト(R5・6年度実施) ・入職支度金の見直し ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持	5~7年度 5~7年度 6年度達成 6年度達成 5~7年度
Ⅴ 人材 育成	※看護学校との連携協力	※看護学校に記載	
	研修	・研修会(医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など)の実施 ・実習受入れ(医師、看護師、コメディカル) ・インターンシップ、見学受入れ(小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体) ・医療マネジメント学会 岡山県支部総会 開催(R6年度幹事病院)	5~7年度 5~7年度 5~7年度 6年度達成
	働き方改革	・長時間労働対策 ・医師 ・A水準を目指す ・手術処置夜間休日加算の適応拡大(現在は脳外、外科) ・看護師 前残業削減、配茶をCSセット化(R6.10) ・業務改善プロジェクト(前3カ年でコメディカル終了、残りは法人本部) ・ICT・AI ・DX技術の活用、生成AIの活用 (R5.4 LINE Works 導入、R5.6 AI 問診職員受診で使用徹底) ・職員満足の向上 ・有給の時間単位取得 運用開始	5~7年度 5~7年度 5~7年度 5年度達成 5~6年度 5年度達成
	診療報酬対策	・施設基準 ・重要基準の維持・新規・ランクUp (R6小児医学管理料ランクUp、R6画像診断加算ランクUp) ・R6年度診療報酬改定への対応(看護必要度、処遇改善など) R6達成	5~7年度
		・DPC係数の向上	5~7年度
		・DPC 特定病院群の継続 ※II最先端医療に記載	
		・標準病名登録の精度向上、体制の再整備	5~7年度
Ⅵ 健全な 経営	コスト削減	・GE、バイオシミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み(薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入) ・物価高騰(食材、光熱費等)への対策 ・節約 ・支援金獲得※R5取得 R6取得	5~7年度 5~7年度 5~7年度 5~7年度
	新規入院患者獲得	・人口減少、高齢化による疾病構成の変化への対応 → ※Iお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・After コロナによる疾病構成の変化への対応 → ※Iお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・適正な病床数の検討 → ※Iお断りしない救急、II最先端医療に記載	
	計画的な インフラ整備	・周産期センター改修工事 ・3~6階病棟改修工事(R5 3西完了 R6 3東、4西、5西完了 R7 6西、4東、5東、6東 予定) ・跡地利用の検討(旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など) ・医療機器 ・R5 ESWL、X-TV、E-2台、透析装置(記念)、白内障手術、器具洗浄器、FPD 達成 ・R6 X-TV、MRI、腹腔鏡システム(泌尿器)、内視鏡システム、RO装置、負荷心電計 達成 ・R7 DSA更新、自動散在分包機、X-TV(URO)更新	5年度達成 5~7年度 5~7年度 5~7年度
		・システム更新 ・eカルテ 3-5年度 R5.10完了 ・サイバーテロ対策、PHR対応、DX ・R6年度診療報酬改定への対応(R7.2救急患者の情報閲覧)	5~7年度

3. 令和7年度事業計画

1. 年度目標

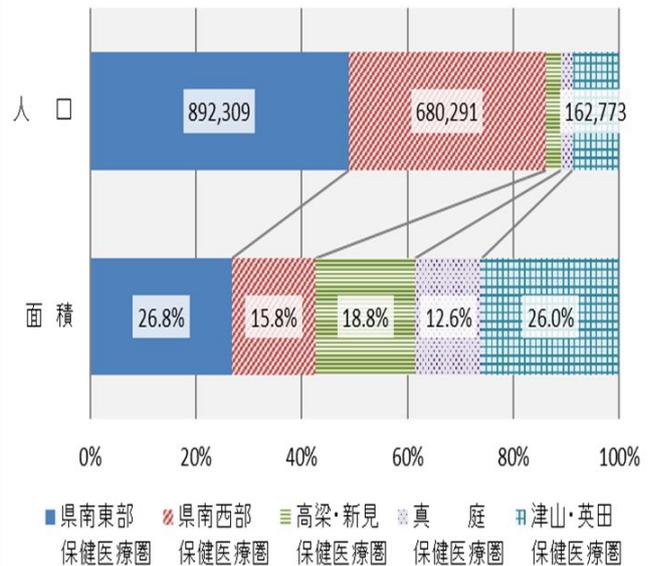
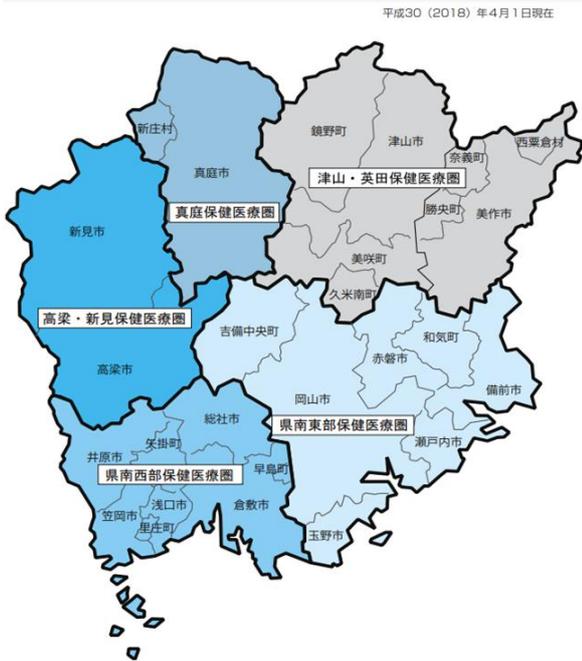
	目標	実績				
		令和7年度	令和6年度 ※2月時点	令和5年度	令和4年度	令和3年度
(1) 外来患者数	860人/日	※876.3人/日	878.4人/日	878.4人/日	858.1人/日	
(2) 新規入院患者数 ※全病棟	11,000人	※879.1人/月	10,916人	10,593人	10,798人	
(3) 手術件数 (手術センター)	4,800件	※4,333件/11ヶ月 対前年100.6%	4,684件	4,704件	4,761件	
(4) 内視鏡件数 (内視鏡cn)	12,000件	※10,402件/11ヶ月 対前年89.8%	12,363件	12,256件	11,463件	
(5) 血管カテーテル治療・検査	1,400件	※1,146件/11ヶ月 対前年112.6%	1,437件	1,633件	1,475件	
(6) 放射線治療	220人	198人/11ヶ月	155人	199人	172人	
(7) 陽子線治療	100人	※78人/11ヶ月 対前年82.1%	102人	84人	78人	
(8) 救急車受入れ台数	5,200件	※4,789台/11ヶ月 対前年100.3%	5,160台	5,075台	5,103台	
(9) 紹介割合 (※令和4年度 計算式改定)	85%	※80.0%	77.9%	76.8%	85.0%	
(10) 逆紹介割合 (※令和4年度 計算式改定)	50‰	※46.5‰	47.0‰	46.9‰	92.1‰	
(11) 平均在院日数 ※N4東、N3西除く	11.30日	※11.70日	11.45日	11.80日	11.61日	
(12) 事業収益	17,146百万円	17,023百万円	16,976百万円	16,171百万円	15,434百万円	
(13) 人員の確保、充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師 ・ 看護師 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ERなど ・ 看護師60人補充 ※4月40人見込み ・ 医療アシスタント3人補充 ※急性期看護補助加算の維持 				
(14) 教育研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全 ・ 感染対策・AST ・ 医療倫理 ・ 個人情報保護 ・ ハラスメント対策 	<ul style="list-style-type: none"> 10回 5回 1回 1回 1回 	<ul style="list-style-type: none"> 15回 6回 ※紙面1、Eラーニング1 2回 1回 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 22回 11回 3回 1回 3回 	<ul style="list-style-type: none"> 17回 16回 1回 1回 6回 	<ul style="list-style-type: none"> 17回 16回 1回 1回 6回

2. 事業および行動計画

	事業	行動計画
I お断りしない救急	救命救急センター	<ul style="list-style-type: none"> 重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の充実 ※JIPD 入力体制 (R7.3 達成) ER構想の進捗 <ul style="list-style-type: none"> ER Day の拡充 救急外来でのタククシェア (救急救命士、事務、コメディカル) ドクターカー運用の拡充 集中治療ユニットの増床の検討 (HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床) スタッフ確保 (救急医確保、看護師、認定看護師、救命士など) 応需率の改善 (80%台から 90%台に)
	小児救急拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> 小児救急外来の体制維持
	周産期母子医療センター	<ul style="list-style-type: none"> NICU機能の充実 (体制整備と改築工事竣工 R5.5→R5.7 運用開始) 助産師外来の体制充実
	※災害拠点	※IV地域貢献に記載
	※外来機能・病棟機能の充実	※II最先端医療に記載
II 最先端医療	がん拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> がん拠点病院としての体制を整える (手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア) ゲノム連携病院 <ul style="list-style-type: none"> 機能充実 ISO15189 認証取得 ISO15189 認証取得 (R7.8 予定※5月受審)、カウンセラー加算 がん登録の精度向上
	放射線治療センター	<ul style="list-style-type: none"> 陽子線治療 <ul style="list-style-type: none"> 保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 医療インバウンドの症例数増加 定位照射 <ul style="list-style-type: none"> IMRT (X線) 治療の適用症例の拡大
	手術センター	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用 ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大 (TAVI 専門施設取得※R6.1) 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大 外来手術推進 (白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等)
	血管治療 (心臓血管 CN・脳卒中 CN)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に竣工した血管造影室 (2部屋) についての効率的な運用 新規に導入した手技の安定した運用 (インペラ、FFRct、NOガス) 新規手技の導入
	リハビリテーションCN	<ul style="list-style-type: none"> 実施件数の増加 365 日リハ検討
	地域完結	<ul style="list-style-type: none"> DPC特定病院群の維持 県南に流出している疾患の実績増加
	外来機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> 専門外来の充実 <ul style="list-style-type: none"> 常勤医師の確保 (眼科、乳腺外科、皮膚科専門医など) ※連携登録医、グループ施設の連携促進→※III地域連携に記載
	病棟機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> DPC入院期間II以内の退院割合の向上 (70%を目指す) 記念病院との連携 (へパリン化入院、整形外科など) RRSの安定した運用 感染制御の体制維持 (医療スタッフの手技、PE確保) 緩和ケア病棟14床の開設※R5.5 達成 → 安定稼働 許可病床のダウンサイジング R8.3 竣工予定 ※看護師の増員・育成 → ※V人材育成に記載
	チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> 各チームの活動件数増加 各チームの体制充実 特定行為看護師 <ul style="list-style-type: none"> 認知症 手順書作製・運用開始 周術期の資格取得 タスクシェア <ul style="list-style-type: none"> 看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する (採血 対応できる検査技師の拡充など)
	III 地域連携	地域医療支援病院
	※地域完結	※I最先端医療に記載

	事業	行動計画
Ⅲ地域貢献	災害拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備と訓練実施 ・DMAT派遣体制の確保 (R6.1 能登震災支援として物資提供を実施)
	へき地拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣
	感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・第二種感染症指定病院(新型インフル・結核)としての患者受入れ ・地域の拠点としての体制確保
	健診事業	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加
	医療インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・陽子線治療実績の増加 ・陽子線以外の治療実績の増加(乾癬、糖尿病など) ・スーパードッグの件数増加
	第二種社会福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> ・減免、無料相談等
Ⅳ人材育成	職員確保 「職員に選ばれる病院」	<ul style="list-style-type: none"> ・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・研修医 マッチング10割 ・看護師増員 ・離職率5%※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持 ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持
	※看護学校との連携協力	※看護学校に記載
	研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会(医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など)の実施 ・実習受入れ(医師、看護師、コメディカル) ・インターンシップ、見学受入れ(小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体)
	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働対策 ・医師 ・A水準を目指す ・手術処置夜間休日加算の適応拡大(現在は脳外、外科) ・看護師 前残業削減 ・ICT・AI ・DX技術の活用、生成AIの活用 (R5.4 LINE Works 導入、R5.6 AI 問診職員受診で使用徹底) ・ ・職員満足の向上
Ⅴ健全な経営	診療報酬対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準 ・重要基準の維持・新規・ランクUp ・DPC係数の向上 ・DPC 特定病院群の継続 ※Ⅱ最先端医療に記載 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備
	コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・GE、バイオシミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み(薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入) ・物価高騰(食材、光熱費等)への対策 ・節約 ・支援金獲得
	新規入院患者獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化による疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・After コロナによる疾病構成の変化への対応 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅲ地域連携 ・適正な病床数の検討 → ※Ⅰお断りしない救急、Ⅱ最先端医療に記載
	計画的な インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6階病棟改修工事 (R7.6西、4東、5東、6東 予定) ・跡地利用の検討(旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など) ・医療機器 ・R7 DSA 更新、自動散在分包装机、X-TV(URO) 更新 ・システム更新 ・サイバーテロ対策、PHR対応、DX ・R6 年度診療報酬改定への対応

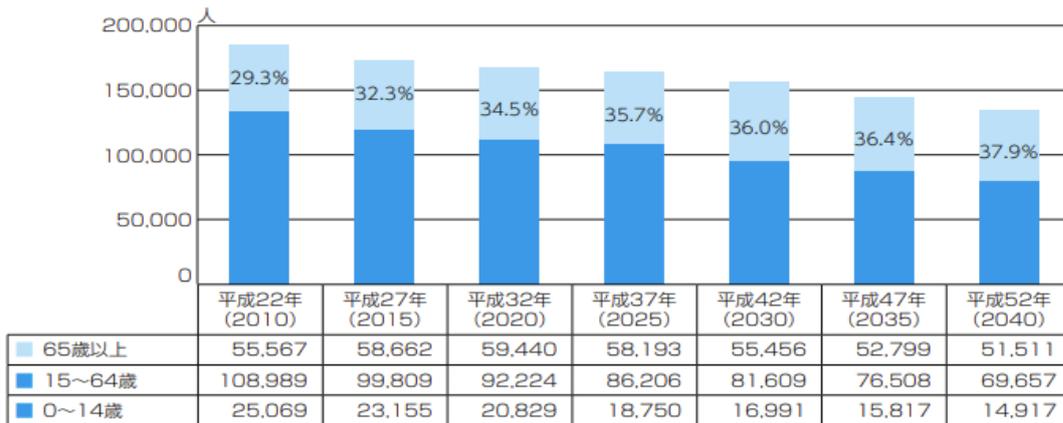
参考資料1 岡山県の人口分布 (2025年)



※出典 ①面積:岡山県保健医療計画 第3床 保健医療圏(2016時点)
 ②人口:岡山県毎月流動人口調査 市町村別人口(2025.2.1時点)

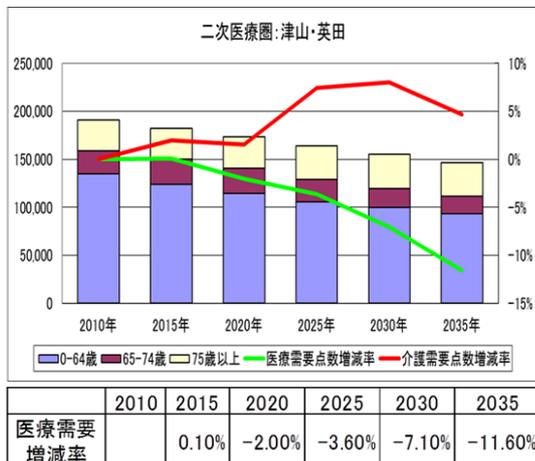
参考資料2 津山・英田医療圏の将来人口推計

図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推計

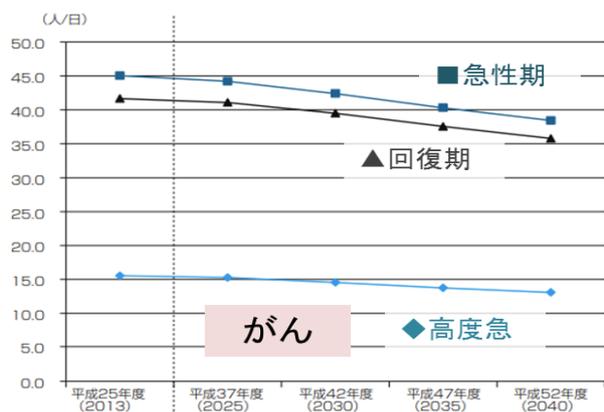


(資料:総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」(平成25(2013)年3月推計))

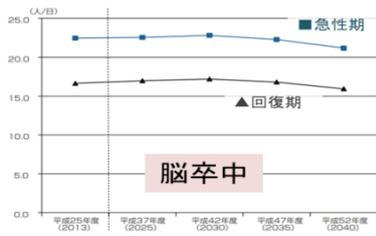
参考資料3 津山・英田医療圏の医療需要推計



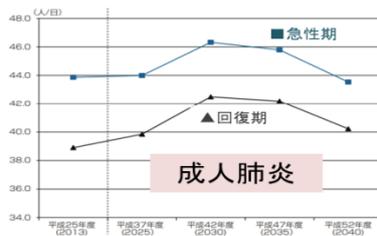
図表5-1-4-18 がんの入院医療需要推計③ (津山・英田)



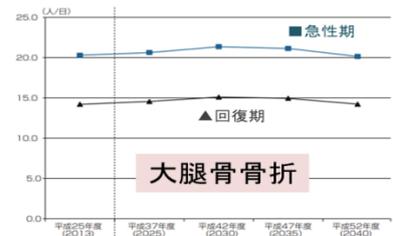
図表5-1-4-21 脳卒中の入院医療需要推計③ (津山・英田)



図表5-1-4-26 成人肺炎の入院医療需要推計⑤ (津山・英田)



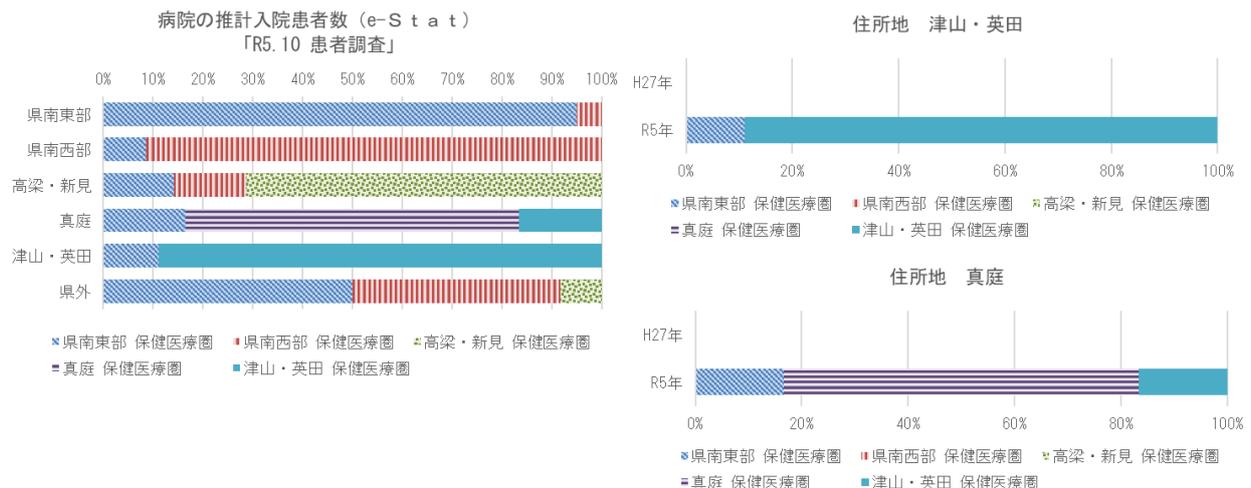
図表5-1-4-29 大腿骨骨折の入院医療需要推計③ (津山・英田)



参考資料4 津山・英田医療圏の医療需要推計 (疾患別)

疾患分類	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	増減
感染症及び寄生虫症	100%	101.21%	100.07%	103.22%	102.20%	98.81%	92.99%	
新生物	100%	100.55%	98.45%	96.63%	93.82%	90.02%	85.52%	
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100%	98.41%	96.00%	97.99%	96.46%	92.83%	86.88%	
内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	101.04%	99.83%	99.93%	97.18%	93.14%	88.36%	
精神及び行動の障害	100%	97.83%	94.59%	90.60%	87.01%	82.88%	78.31%	
神経系の疾患	100%	99.17%	97.04%	98.11%	95.99%	92.13%	86.39%	
眼及び付属器の疾患	100%	101.36%	99.95%	100.49%	98.65%	95.08%	90.09%	
耳及び乳様突起の疾患	100%	97.18%	95.62%	97.42%	94.93%	90.51%	84.42%	
循環器系の疾患	100%	101.13%	100.02%	103.30%	102.42%	99.08%	93.15%	
呼吸器系の疾患	100%	100.85%	99.60%	103.76%	103.22%	99.97%	93.74%	
消化器系の疾患	100%	100.03%	97.91%	98.50%	96.66%	93.11%	87.74%	
皮膚及び皮下組織の疾患	100%	100.87%	99.64%	103.24%	102.31%	98.91%	92.93%	
筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	100.93%	99.54%	101.24%	99.51%	95.91%	90.51%	
腎尿路生殖器系の疾患	100%	100.64%	99.28%	100.94%	99.13%	95.44%	90.02%	
妊娠、分娩及び産じょく	100%	88.84%	81.47%	77.55%	74.23%	69.62%	64.15%	
周産期に発生した病態	100%	91.32%	80.67%	73.21%	68.78%	65.08%	60.93%	
先天奇形、変形及び染色体異常	100%	93.00%	85.36%	78.94%	74.02%	69.62%	64.66%	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	100.34%	98.83%	101.16%	99.91%	96.42%	90.55%	
総数	100%	99.94%	98.00%	98.80%	96.92%	93.27%	87.83%	

参考資料5 津山・英田医療圏の患者流出入 (R5.10) ※e-Stat『患者調査』より



参考資料6 消防車

	R 6	R 5	R 4	R 3
津山圏域消防組合 出動件数	8,324	8,319	8,102	7,753
津山中央病院 受入件数	5,218	5,026	5,187	5,137

参考資料7 地域医療構想

構想区域別許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

津山・英田	2017年現在			必要数		
	病院	診療所	合計	2013年	2025年	2040年
高度急	125	0	125	137	132	118
急性期	877	119	996	514	501	460
回復期	187	11	198	487	483	452
慢性期	682	99	781	605	414	411
休棟・無回答		63	63			
	1,871	292	2,163	1,743	1,530	1,441

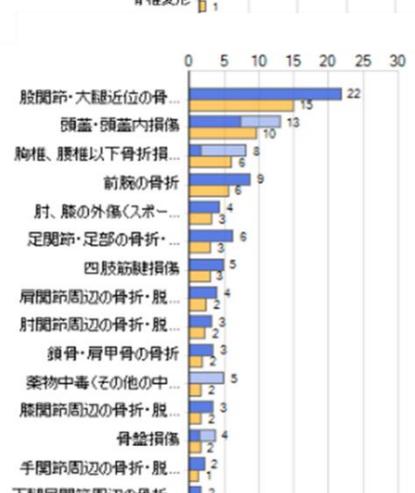
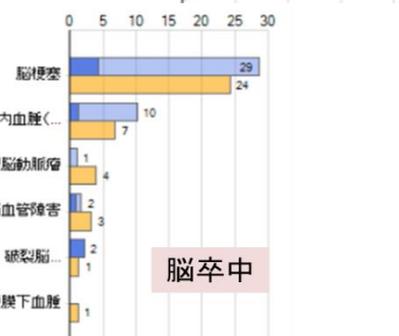
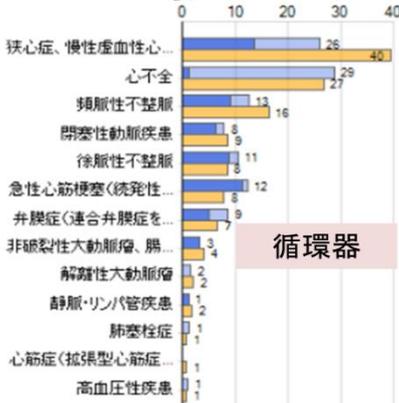
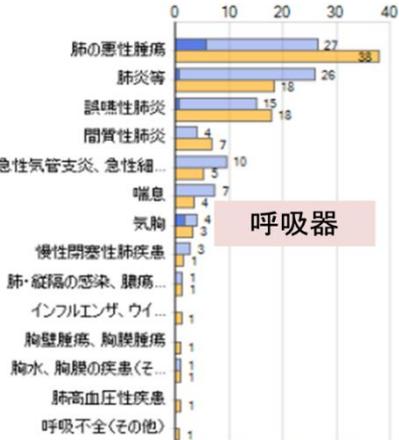
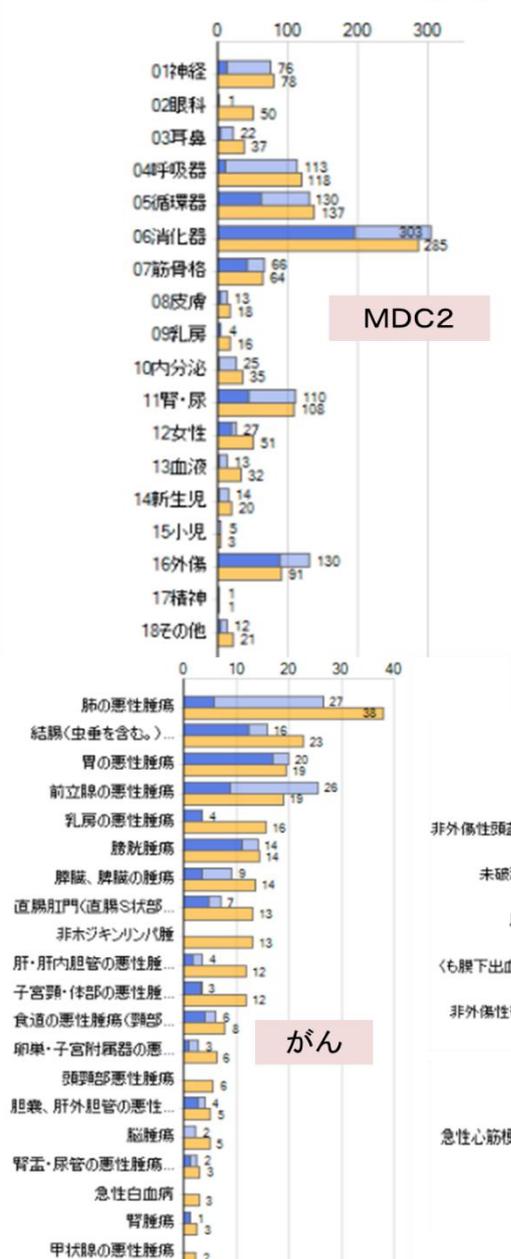


参考資料8 推計患者数 (2021年)

津山中央病院から半径20km圏内

人口 170,804人
 推計患者数 1,183人
 退院患者数 1,032人

■手術あり退院数 ■手術なし退院数 ■推計患者数 (月平均)



参考資料9-1 令和6年度の診療報酬改定（12月20日 厚生労働省）

・全体 ▲0.12%	・診療報酬本体 +0.88%	※1 2～4を除く改定分 +0.46% ※2 看護職員、病院薬剤師等のペア（R6 2.5%、R7 2.0%） +0.61% ※4 入院時の食費基準額の引き上げ +0.06% ※5 生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料等の再編 ▲0.25%
	・薬価 ▲0.97%	・材料価格 ▲0.02%

参考資料9-2 令和6年度診療報酬改定の基本方針（概要）

- 改定に当たっての基本認識
- ▶物価高騰・賃金上昇、経営の状況、人材確保の必要性、患者負担・保険料負担の影響を踏まえた対応
 - ▶全世代型社会保障の実現や、医療・介護・障害福祉サービスの**連携強化、新興感染症等**への対応など医療を取巻く課題への対応
 - ▶医療DXやイノベーションの推進等による質の高い医療の実現
 - ▶社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

改定の基本的視点と具体的方向性	主な改定項目
<p>(1) 現下の雇用情勢も踏まえた人材確保・働き方改革等の推進 【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療従事者の人材確保や賃上げに向けた取組 ○各職種が高い専門性を発揮するためのスキルアップ/スキルアップ、チーム医療 ○業務の効率化に資するICTの利活用の推進、その他長時間労働などの厳しい勤務環境の改善 ○地域医療の確保及び機能分化を図る観点から、労働時間短縮の実効性担保に向けた見直しを含め、必要な救急医療体制等の確保 ○多様な働き方を踏まえた評価の拡充 ○医療人材及び医療資源の偏在への対応 	<p>【賃上げ・基本料等の引き上げ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベースアップ評価料（外来・在宅・歯科・入院） 新 ・基本料の引き上げ 初再診料、入院基本料 ・入院料通則 栄養管理・ACP・身体的拘束 <p>【医療DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療DX推進体制整備加算 新8点 ・診療録管理体制加算 点数Up・厳格化 ・脳血栓回収療法連携加算 新5,000点 <p>【ポストコロナにおける感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策向上加算 要件見直 <p>【外来診療の機能分化・強化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院支援加算 点数Up・要件見直し ・外来腫瘍化学療法診療料 点数Up・見直し <p>【医療機能に応じた入院医療の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期一般入院料1 施設基準の見直し ・リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算 新 ・特定集中治療室管理料 点数Up・厳格化（医安加1） ・急性期充実体制加算 厳格化 ・DPC医療機関別係数、基礎係数の見直し ・地域医療体制確保加算 厳格化 ・処置及び手術の休日加算 厳格化 ・医師事務作業補助体制加算 点数Up ・看護補助体制加算 新 <p>【重点的分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急患者連携搬送料 新 ・救急医療管理加算 厳格化 ・小児入院医療管理料 緩和 ・外来腫瘍化学療法診療料 点数Up・細分化 ・認知症ケア加算 点数Up・厳格化 ・遺伝学的検査 対象疾患拡大 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオ後続品導入初期加算 新 ・栄養情報連携 新 ・再製造単回使用医療機器使用加算 新 ・アミロイドPET 新 ・陽子線治療 適応拡大
<p>(2) ポスト2025を見据えた地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療DXの推進による医療情報の有効活用、遠隔医療の推進 ○生活に配慮した医療の推進など地域包括ケアシステムの深化・推進のための取組 ○リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進 ○患者の状態及び必要と考えられる医療機能に応じた入院医療の評価 ○外来医療の機能分化・強化等 ○新興感染症等に対応できる地域における医療提供体制の構築に向けた取組 ○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師の機能の評価 ○質の高い在宅医療・訪問看護の確保 	
<p>(3) 安心・安全で質の高い医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食材料費、光熱費をはじめとする物価高騰を踏まえた対応 ○患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制の評価 ○アウトカムにも着目した評価の推進 ○重点的な対応が求められる分野への適切な評価（小児医療、周産期医療、救急医療等） ○生活習慣病の増加等に対応する効果的・効率的な疾病管理及び重症化予防の取組推進 ○口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進 ○薬局のかかりつけ機能の対物中心から対人中心への転換推進、病院薬剤師業務の評価 ○薬局の経営状況等も踏まえ、地域の患者・住民のニーズに対応した機能を有する医薬品供給拠点としての役割の評価を推進 ○イノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等 	
<p>(4) 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品やバイオ後続品の使用促進、長期収載品の保険給付の見直し等 ○費用対効果評価制度の活用 ○市場実勢価格を踏まえた適正な評価 ※6 項目が再掲 	

参考資料9-3 第8次医療計画【2024年～2029年】のトピックス

- 『5疾病5事業』から『5疾病6事業』へ ※『**新興感染症**等の感染拡大時における医療』が追加
- 外来機能分化 ※『**かかりつけ医療機能を担う医療機関**』と『**紹介受診重点医療機関**』

参考資料10 津山中央病院 職員数推移

	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4
医師	96	100	97	104	114	107	108	109
歯科医師	2	2	2	2	1	2	2	2
研修医	22	21	18	14	18	18	15	17
看護師	487	468	460	468	476	486	473	462
助産師	12	12	15	14	15	16	15	10
保健師	13	16	16	17	16	14	12	11
准看護師	12	9	9	7	5	3	6	5
介護福祉士	7	9	9	11	13	13	13	13
医療アシスタントⅡ	63	59	65	57	56	53	54	49
救急救命士	-	-	-	3	6	8	8	8
薬剤師	27	27	27	26	27	28	29	28
臨床検査技師	27	27	29	29	30	32	34	36
診療放射線技師	37	35	37	37	37	37	37	36
医学物理士	-	1	0	0	0	1	1	1
理学療法士	31	33	31	32	31	32	33	30
作業療法士	13	15	12	14	15	16	16	15
言語聴覚士	2	3	3	1	1	2	2	2
視能訓練士	3	3	3	3	3	3	3	2
管理栄養士	12	12	12	12	12	14	14	13
栄養士	6	5	1	1	1	1	0	0
調理師・調理補助	32	26	22	22	22	23	23	21
臨床工学技士	16	17	15	15	15	15	15	14
歯科衛生士	6	6	5	6	6	6	5	6
歯科技工士	1	1	1	1	1	0	0	0
社会福祉士	9	8	7	6	4	4	6	6
臨床心理士	1	1	1	1	1	1	2	2
保育士	3	3	3	3	4	4	5	4
診療情報管理士	23	24	24	25	26	24	24	24
事務職員等	58	53	55	59	66	69	69	69
合計	1,021	996	979	990	1,022	1,032	1,024	996

参考資料 11 津山中央病院 概要

●主な医療機器

・da Vinci (ダヴィンチ)	-----1 台
・ハイブリッドOR	-----1 台
・陽子線治療装置	-----1 台
・MRI (3テスラ)	-----1 台
・MRI (1.5テスラ)	-----2 台
・マルチスライスCT (16列)	-----1 台
・マルチスライスCT (64列)	-----3 台
・PET / CT	-----1 台
・血管撮影装置 (パイプライン)	-----2 台
・DSA (頭部、胸腹部用)	-----1 台
・リニアック (IMRT対応)	-----1 台
・デジタルマンモグラフィ	-----2 台
・ガンマカメラ (RI)	-----1 台
・一般撮影装置	-----4 台
・DRX 線TV	-----2 台
・X 線TV	-----3 台
・ESWL	-----1 台

●手術室

・11室 (クラス1000バイオクリーンルーム1室含む)

●主なシステム

- ・Eカルテ (電子カルテ)
- ・オーダーリング (外来・入院)
- ・看護支援システム等
- ・電子カルテ・バイタル連携システム (ユカリアタッチ)

●付属施設

- ・ヘリポート
- ・備蓄倉庫
- ・第1、第2エネルギーセンター
- ・長期入院患者院内学級 (小学生、中学生)
- ・津山慈風会記念ホール (154席)
- ・医師用マンション (25戸)
- ・看護師等独身宿舎 (36戸)
- ・研修医等独身宿舎 (54戸)
- ・院内保育園 (認可保育所)

●病院規模

敷地面積 84,787.92 m² / 延床面積 52,837.76 m²

●病床数 498床

一般病棟-----454床 (SICU6床、NICU機能8床含む)
救命救急センター-----26床 (ICU4床、HCU22床)
結核病棟-----10床
感染症病棟-----8床

●診療科目

内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、救急科、病理診断科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科

●併設施設

- ・津山中央病院 救命救急センター
- ・津山中央健康管理センター
- ・津山中央看護専門学校
- ・医療研修センター
- ・フィットネス&スパ CARVATA
- ・岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター

●関連施設

- ・津山中央記念病院
- ・津山中央クリニック
- ・津山中央訪問看護ステーション
- ・津山中央居宅介護支援事業所
- ・アーバンライフ二階町 (有料老人ホーム)
- ・ナイスデイ二階町 (小規模多機能施設)

●第三者認証

- ・日本病院機能評価機構 (認定5回目)
- ・医療被ばく低減施設
- ・ジャパンインターナショナルホスピタルズ (JIH)

令和7年度事業計画

津山中央記念病院

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 令和7年度事業計画

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日

改定：平成24年 1月12日 (第2版)

直近見直：令和 6年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和7年度事業計画

1. 年度目標

	目標			実績	
	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
(1) 外来患者数	135.0人/日	138.9人/日	155.8人/日	155.0人/日	149.1人/日
(2) 入院患者数	58.0人/日	61.1人	56.9人	57.4人	60.5人
(3) 事業収益	1,487百万円	1,477百万円	1,523百万円	1,519百万円	1,582百万円

2. 事業および行動計画

基本方針/行動計画	具体化項目	成果物/目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実 津山中央病院で急性期を脱した患者を受け入れる 自前入院増	一般病床利用率85% 療養病床利用率80% 20人以上/月確保
2. 最先端の医療を提供する	①糖尿病診療機能充実 質の向上 ②透析センター機能向上 コメディカルの確保 ③リハビリ機能の充実 理学療法士、作業療法士の確保	常勤の糖尿専門医の確保 研修会実施 看護師、MEの確保 理学療法士2名確保 作業療法士1名確保
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化 地域包括ケア病床の充実	運用の適正化
4. 地域に貢献する活動を推進する	①研修受入 中学生、高校生研修見学受入 ②啓発活動 市民啓発実施 ③第二種社会福祉事業 社会福祉事業継続	受入施設を増やす 生活習慣病講座 減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討 医局 看護部 透析室 栄養課 リハビリテーション課 事務部 ②職員倫理教育実施 職員倫理教育継続実施 ③医学研究推進 学会出張奨励 研修出張奨励 臨床研究奨励	専門医の充実 看護師の確保 ME等スタッフの確保 栄養指導の充実 リハビリの充実 接遇の向上 年2回以上 発表奨励 伝達研修実施 医学雑誌発刊
6. 健全な経営に努める	①病床稼働率の確保 1病棟 利用率確保 適正な運用 地域包括ケア病床の充実 2病棟 利用率確保 適正な運用(施設基準維持) ②クリニックの機能継承 記念病院の外來再編工事 クリニック外來引越、記念外來での再会	利用率90% 施設基準維持 3人以上/月自前入院患者の確保 利用率80% 4月竣工 4-5月に実施
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ 職員教育年間計画 ②患者満足度調査実施 患者アンケートを実施する	年3回以上実施 成果の報告書提出 年2回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入 目標管理制度導入検討 ②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化 コンプライアンス教育監視強化 危機管理体制強化 ③医療安全情報収集、対策機能を強化する 対策を全院周知徹底 トラブル発生時の検証 ④医療安全風土向上 研修会を実施する	目標管理制度 研修会開催、監視体制の強化 管理体制の強化 転倒・転落のアクシデントを減数 検証会議事録 津山中央病院合同

令和7年度事業計画

津山中央看護専門学校

目 次

1. 理念・目的、教育目標
2. 今年度重点目標
3. 令和7年度事業計画

1. 津山中央看護専門学校 の 理念・目的、教育目標

作成：平成13年 8月14日
改訂：令和 3年 4月 1日 (第2版)
直近見直：令和 6年 3月27日

理念・目的

一般財団法人津山慈風会の理想とする仁愛の精神を養うと共に、人格の陶冶を目指し、幅広く教養を高め、高度な専門的知識及び技術を教授し、看護専門職として社会に貢献できる有能な人材を育成する

教育目標

- (1) 優しさ、思いやり、豊かな人間性をもち、倫理的配慮のもとに行動できる
- (2) 人間を統合された存在として、身体的・精神的・社会的に理解することができる
- (3) 自己理解・他者理解を通して人間関係を築くことができる
- (4) 看護実践に必要な基礎的知識・技術を習得することができる
- (5) 科学的思考により、自己の考えや行動を決定できる
- (6) 他の医療従事者と連携を取りながら、患者や家族へ適切な援助ができる
- (7) 地域に暮らす人々の健康生活に向けた支援を行うことができる
- (8) 社会情勢に関心をもち、看護と結びつけることができる
- (9) 向上心をもち、学び続ける力を身につけることができる

2. 今年度重点目標

- (1) 社会人や高校教員への情報発信を強化し、人物・学力ともに優秀な志願者の確保
- (2) 豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成
- (3) ICT教育を推進し、臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成

3. 令和 7 年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 新カリキュラムを効果的に展開する	地域連携を取り入れたカリキュラムの展開
2. 優秀な学生を確保する	定員確保
3. 地元志願者を増加させる	県北出身の入学者を定員の <u>5</u> 割以上確保 <u>在校生の多い地域に重点を置いた募集活動の実施</u> <u>志願者を引き付けるホームページの充実</u>
4. 看護師国家試験の教育充実を図る	合格率 100%
5. 津山慈風会施設への就職率を上げる	就職率 8割以上
7. 現基礎看護教育の動向の把握ができる	院内外の研修への積極的な参加
6. 専門能力や職員倫理の向上を図る	教育・研修の実施 職員倫理研修への参加

令和7年度事業計画

津山中央訪問看護ステーション

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和7年度事業計画

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日

改訂：令和 3年 4月 1日（第2版）

直近見直し：令和 6年 3月 27日

理念

「利用者の特性を踏まえて、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指し、利用者の満足できる適切な訪問看護サービスを提供する」

基本方針

- ・利用者との信頼関係の構築に努める
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 看護の質向上を目指す
2. 人材育成

3. 令和7年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の看護を実践する。	自己評価システムの活用、利用者満足度調査を行い、看護の質の向上を図る
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 医療の質、医療スタッフを充実する。(知識、技術の向上をはかる。)	スタッフの確保、充実 OJTを行い育成する
4. 医療安全体制を強化する。(津山中央病院合同)	津山中央病院に準ず
5. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	法人内外の研修に参加し、知識、技術を身につける
6. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	個別に研修計画を立て、実行する
7. 健全経営を維持するために経営管理を強化する。	看護体制強化加算 <u>算定の維持</u> 、機能強化型加算 <u>算定の維持</u>
8. 医療機関、ケアマネージャー等との連携を深め、利用者増を目指す	医療依存度の高い利用者、終末期の利用者を増やす 医療的ケア児の受け入れを増やす

令和7年度事業計画

津山中央居宅介護支援事業所

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和7年度事業計画

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直 : 令和 6年 3月27日

理念

「事業所の介護支援専門員は、利用者が要介護状態にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う」

基本方針

- ・ サービス依頼をお断りしない
- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追求
2. 働き方改革

3. 令和 7 年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の支援を実践する。	津山中央病院の研修に参加
2. 待遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 保健・福祉・医療サービス事業者との連携を強化する。	連携会議の実施
4. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	研修会に参加
5. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	県協会主催の研修会に参加
6. 質の高いケアプランの作成を実施する。	

令和7年度事業計画

アーバンライフ二階町

目 次

1. 理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和7年度事業計画

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直し : 令和 6年 3月27日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

契約者数 29 名、平均実入居 28 名、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和6年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件の確保を図る ご入居者の状態に気を配り入院期間等不在期間を短縮する
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	スタッフの質的向上のため、研修の実施、全体会議での意識統一を図る 接遇研修・ <u>虐待防止研修</u> ・ <u>感染予防研修</u> の実施 各種委員会による改善提案
3. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	<u>他施設・地域との連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する</u> コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	自己目標作成および面談の実施 <u>利用者の変化に合わせた業務改善</u> ケアマネを中心としたリスク管理 徹底した感染予防自己管理 ケア実施時の感染予防の徹底

令和 7 年度事業計画

フィットネス&スパ

CARVATA (カルヴァータ)

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和 7 年度事業計画

1. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

の理念、基本方針、行動規範

作成：平成26年 4月 1日

改定：令和 4年 4月 1日 (第2版)

直近見直：令和 6年 3月 27日

理念

一人ひとりの健康で健やかな生活への貢献

基本方針

- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します
2. 地域満足：地域の健康増進に寄与します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 会員数増
2. 疾病予防プログラム・サービスの提供
3. 新会員区分の運用開始

3. 令和6年度事業計画

1. 年度目標

		目標		実績	
		令和7年度	令和6年度(見込)	令和5年度	令和4年度
(1)	会員数	<u>701人</u>	<u>636人</u>	554人	520人
(2)	入会者数	<u>200人</u>	<u>212人</u>	151人	150人
(3)	退会者数	<u>135人</u>	<u>130人</u>	120人	120人
(4)	退会率	<u>1.7%</u>	<u>1.8%</u>	1.8%	2.0%
(5)	事業収益	<u>67,800千円</u>	<u>63,000千円</u>	56,100千円	52,700千円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画	具体化項目	成果物／目標																																
1. クラブ収益の向上 s	①会員獲得	紹介入会強化（通年） 紹介特典告知 館内掲示、HP、SNS 発信	紹介入会者 全入会者 20% 40 人/年間																															
		WEB入会強化（通年） HP、FB、インスタ、LINE からの 入会特典（入会金無料）	WEB 入会者 全入会者 20% 20 人/年間																															
		入会促進キャンペーン 実施期間） 年 2 回実施（春、秋） 春：4 月、5 月 秋：9 月、10 月 入会特典） 入会金無料、温泉利用クーポン 内容） ・イベント&セミナー ・プログラム体験&体験教室 ・クラブ期間体験クーポン発行	入会者 期間中入会者数 100 名 春：60 名 秋：40 名 イベント一般参加者転嫁率 50% 評価項目 ・イベント参加者数 ・プログラム参加者数 ・クラブ期間体験者数																															
	②会員動向計画	上記会員獲得策実施による会員動向 2025 年計画/2024 年実績（昨年対比） ・入会者数 200 名/212 名（87.0%） ・退会者数 135 名/130 名（103.8%） ・退会率 1.7%/1.8%（94.4%） ・在籍者数 701 名/636 名（110.2%） ○入会強化月間： 4 月、5 月 60 名 9 月、10 月 35 名 ○紹介入会者数 目標：総入会者数/20% 46 名	月次動向評価及び管理 ・月次入会者数 ・月次退会者数 ・月次退会率 ・月次在籍者数																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4 月</th> <th>5 月</th> <th>6 月</th> <th>7 月</th> <th>8 月</th> <th>9 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入会者</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>退会者</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>在籍者</td> <td>641</td> <td>646</td> <td>656</td> <td>661</td> <td>666</td> <td>671</td> </tr> </tbody> </table>		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	入会者	20	20	20	15	15	15	退会者	15	15	10	10	10	10	在籍者	641	646	656	661	666	671					
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月																												
入会者	20	20	20	15	15	15																												
退会者	15	15	10	10	10	10																												
在籍者	641	646	656	661	666	671																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>10 月</th> <th>11 月</th> <th>12 月</th> <th>1 月</th> <th>2 月</th> <th>3 月</th> <th>3 月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入会者</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>退会者</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>在籍者</td> <td>681</td> <td>681</td> <td>686</td> <td>691</td> <td>696</td> <td>701</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	3 月	入会者	20	10	15	20	15	15		退会者	10	10	10	15	10	10		在籍者	681	681	686	691	696	701		
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	3 月																											
入会者	20	10	15	20	15	15																												
退会者	10	10	10	15	10	10																												
在籍者	681	681	686	691	696	701																												
③退会率減少 顧客満足促進	会員管理の仕組みづくり ・担当制設置 ・会員管理のマニュアル化 ・会員情報の共有化 朝礼、昼礼、暮礼の実施	退会率 1% 台 以下項目の前年比 ・クラブ未利用者数 ・日次来館者数 ・体験、見学者数																																
	顧客満足向上イベントの開催 ・4 月～5 月キャンペーンイベント ・9 月～10 月キャンペーンイベント ・12 月 クリスマスイベント 1 月～2 月 体験&測定イベント																																	
	パーソナル型プログラムサービス推進 スタッフ力量の強化（研修会開催） ・姿勢改善・肩こり・腰痛、ひざ痛 ・生活習慣病予防 ・ウエイトトレーニング ・ヨガ・ピラティス等 ・メディセル筋膜リリース	月次売上 40 万円 月次実施数 100 セッション ・スタッフ全員の実施 ・スタッフ研修の定期開催 毎月 1 回の集合研修																																
④経費削減	業務担当制の強化、効率化 ・業務担当の再編、適材適所	管理費の減少（前年比） ・人件費（シフト管理）																																

		<ul style="list-style-type: none"> ・業務棚卸、ムダな業務を削除 ・マネジメントサイクルの強化 報告、連絡、相談の徹底 ・ムダの見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品、雑費 ・水道光熱費
2. シニア層のサービス 拡充	①医療連携型メ ディカルフィットネ ス事業の推進	病院との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・医師との連携 ・連絡会の開催（月1回） ・患者の紹介、処方箋の発行 ・運動実施後のフィードバック ・教室企画、実施 ・3か月教室実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師との連絡会 月1回 ・連携システムの具現化 立案、調整、試験運用まで ・運動処方箋発行数 ・教室参加者数 各回10名目標
		運動+ボデイケアプログラムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・メディセル筋膜リリースの販売促進 セミナー、体験会 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数、参加者数 割引クーポン利用者数 通常利用者数 10名/月 回数券利用者数 2名/月 	
	②シニア向けプロ グラムの推進	シニア層の問題、課題解消に向けたイ ベント開催（非会員獲得目的） <ul style="list-style-type: none"> ①10周年イベント ・セミナー&教室 <ul style="list-style-type: none"> ・痛み改善 ・生活習慣病 ・筋力アップ ・ダイエット、ストレス解消 ・体験イベント <ul style="list-style-type: none"> ・1日施設フリー利用 ・プログラムビジター体験 ・メディセル体験 ②期間&通年イベント <ul style="list-style-type: none"> ・会員同伴ビジター利用 ・セミナー&教室参加 	各イベント非会員参加者 <ul style="list-style-type: none"> ・教室：定員の20%獲得 ・各セミナー：10名以上 ・各体験イベント：10名以 上 ・ビジター利用：毎月3名以 上
3. 地域認知度向上及び 健康増進の寄与	①広告及び健康増 進実践策	オフライン広告 <ul style="list-style-type: none"> ①ポスティング ・春、年始のキャンペーン時配布) 	年2回 レスポンス測定 問い合わせ、見学、体験者 数、イベント参加者数、入会 者数
		オンライン広告 <ul style="list-style-type: none"> ①WEB告知 ・HP ・SNS告知 情報提供頻度の向上、WEB入会、 イベント参加獲得の仕組み検討	WEB告知 情報提供頻度： SNS更新：毎日 HP更新：毎月見直し
	②行政連携健康教 室の開催	津山市との連携による介護予防教室の 開催 6月から週1回3か月間実施	教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の効果測定 ・参加者からのクラブ及び スタッフ評価 ・参加者の会員転嫁者数、転 嫁率

令和7年度事業計画

法人本部

目 次

1. 令和7年度事業計画

1. 法人本部 令和7年度事業計画

事業	行動計画／目標		
1. 減免事業 ※生活困窮者への医療提供	<ul style="list-style-type: none"> ・津山中央病院 ・津山中央記念病院 ・津山中央クリニック ・それぞれ全保険診療の10%以上 		
2. 奨学・育英事業	・奨学金の貸与、回収を実施		
3. 新規事業の検討、実施			
・老朽化した設備の更新工事	・R5 健診センター熱源設備など	※達成	5-7年度
・3F~6F 病棟の改修工事	・R5年度 周産期cn (NICU) 竣工	※達成	5-7年度
	・R6年度 3西、4西、5西 竣工 6西着工	※達成	
	・R7年度 6西、5東、6東、4東 竣工		
・旧病理検査室の跡地利用	・計画立案		
・旧中央材料室の跡地利用	・計画立案		
・記念病院の改修工事（増築）	・工事 R5.6開始	※達成→R6.12竣工	※達成
	・運用	・外来、リハビリ R7.2開始	※達成
		・透析 R7.3開始	※達成
・記念病院の改修工事（既存棟）	・工事 R7.2開始	※達成→R7.4竣工	5-7年度
	・運用	R7.4開始	
・医療インバウンドの拡充	5-7年度		
・大型機筋の計画的な更新と導入	・R5 医療機器委員会(1.5億)	※達成	5-7年度
	・R6 MRI(1.87億)、 <u>記念病院造築</u> ※外来・OP・透析(0.6億)、医療機器委員会(1.5億)	※達成	
	・R7 DSA装置(1.3億)、記念一般撮影(0.2億)、医療機器委員会(1.5億)		
・ <u>クリニック閉院</u> ※記念病院へ機能集約	7年度		
・ <u>ナイスデイニ階町閉鎖</u> ※アーバンライフへ機能集約	7年度		
・ <u>慈風寮（学生寮）閉鎖と機能移行</u>	7年度		
4. 拠点病院事業、補助事業	R5	R6	R7
・拠点病院事業（運営費） ※救命cn、へき地拠点、周産期母子cn、小児救急拠点等	134,000千円	144,000千円	検討
			※R6と同等見込
・拠点病院事業（設備整備事業）	2,900千円	3,400千円	検討
・物価高騰支援金	43,600千円	1,600千円	申請済
			15,000千円
・新型コロナ関連	671,600千円	----	----
			5年度達成
・ <u>地域医療介護総合確保基金</u> (津山中央病院の減床)	----	45,000千円	107,000千円
			6-7年度
・ <u>経営強化緊急支援事業</u>	7年度		
・生産性向上・職場環境整備等支援事業	※検討中(40,000円×許可病床)		
・病床数適正化支援事業	検討 ※希望調査提出済(4,000,000円×削減病床)		
・施設整備促進支援事業	検討 ※希望調査提出済(検査室改修工事)		
・小児医療施設支援事業	検討 ※希望調査提出済(250,000円×小児病床数)		
※分譲取扱施設支援事業			

×地域連携周産期支援事業（分娩取扱施設）

×地域連携周産期支援事業（産科施設）

5. コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、V H J 共同購入） 	5-7 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、 	5-7 年度 支援金獲得）
6. 職員確保	<ul style="list-style-type: none"> ・福利厚生の見直し 	5-7 年度
<ul style="list-style-type: none"> ※「職員から選ばれる病院」のための運営見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・待遇見直し（定期昇給、ベースアップ） 	6-7 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>外国人看護師の採用の検討</u> 	<u>6-7 年度</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療マネジメント学会（津山中央病院主幹）開催 	<u>6 年度達成</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 70 年記念事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 記念誌作製 <u>※達成</u> ・ 祝賀行事（記念品） 	<u>6 年度達成</u>